

ひょうご事業改善レビューシート

様式 1

レビュー項目 (事業名)	小規模事業者への海外事業展開支援 (中小企業海外展開総合支援促進事業)				部(局)	産業労働部国際局	
					所管課	国際課	
					担当班	経済交流班	
					連絡先	078-362-3328	
開始年度	平成28年度	終了年度	-	関連計画等	-		
事業区分	<input type="checkbox"/> 国補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 県単独事業						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直執行 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()				実施主体等	ひょうご産業活性化センター(ひょうご海外ビジネスセンター)	
事業目的	県内企業等による海外での販路開拓や拠点設立等の実現可能性調査(F/S調査)に対する経費を助成するとともに、民間企業で豊富な実績を有する海外展開促進員の配置による総合的かつ切れ目のない支援を展開し、県内企業等の海外展開を支援する。						
事業概要	県内企業等による海外での販路開拓や拠点設立等の実現可能性調査(F/S調査)に対する経費を助成する。 (1) 中小企業海外展開基礎調査支援事業 (2) 中小企業海外展開実証調査支援事業 (3) サプライチェーン多元化支援 (4) ポストコロナ海外新展開支援事業 (5) 中小企業越境EC等出展支援事業						
これまでの改善状況	・R3年度に、ポストコロナ対応として一部事業内容を組み替え、「中小企業越境EC等出展支援事業」を新設 ・R4年度に、コロナ禍で変化した海外市場に対応できるよう、新たな商品開発をするための調査に係る費用に助成を行う「ポストコロナ海外新展開支援事業」を新設						
業務フロー	申請(県内企業等) → 受付(ひょうご海外ビジネスセンター) → ヒアリング審査(審査委員) → 交付(ひょうご海外ビジネスセンター)						
事業に要するコスト	区 分		2年度決算額	3年度決算額	4年度当初予算額	5年度当初予算額	
	事業費①		1,620千円	21,455千円	20,205千円	20,205千円	
	経費内訳	報酬・賃金	0千円	0千円	0千円	0千円	
		委託料	0千円	0千円	0千円	0千円	
		補助金・交付金	1,620千円	21,455千円	20,205千円	20,205千円	
		貸付金	0千円	0千円	0千円	0千円	
		その他	0千円	0千円	0千円	0千円	
	(財源内訳)	(国庫)	(0千円)	(5,000千円)	(7,500千円)	(0千円)	
		(特定)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	
		(起債)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	
		(一般財源)	(1,620千円)	(16,455千円)	(12,705千円)	(20,205千円)	
	予算額② ※精算補正前の予算を記載		1,620千円	21,455千円	20,205千円	20,205千円	
	執行率((①/②)×100)		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
	人件費③(a+b+c)		従事人員 0.5人	従事人員 0.5人	従事人員 0.5人	従事人員 0.5人	
		4,149千円	4,113千円	4,310千円	4,310千円		
職員給与費	a	3,594千円	3,551千円	3,755千円	3,748千円		
賞与引当金繰入額	b	290千円	286千円	290千円	286千円		
退職手当引当金繰入額	c	265千円	276千円	265千円	276千円		
総コスト(①+③)		5,769千円	25,568千円	24,515千円	24,515千円		

ひょうご事業改善レビューシート

様式 1

評価	指標名	区分	2年度実績	3年度実績	4年度見込	5年度目標	最終目標【年度】
	評価	成果指標(アウトカム指標①)	目標	23	36	38	36
実績(見込)			4	20	(34)	(36)	【R5年度】
(単位当たりコスト)			(1,442千円)	(1,278千円)	(721千円)	(681千円)	
達成率(見込)			17.4%	55.6%	(89.5%)	(100.0%)	
成果指標(アウトカム指標②)		目標	-	-	-	-	
		実績(見込)	-	-	-	-	
		(単位当たりコスト)	-	-	-	-	
		達成率(見込)	-	-	-	-	
成果指標(アウトカム指標③)		目標	-	-	-	-	
		実績(見込)	-	-	-	-	
		(単位当たりコスト)	-	-	-	-	
		達成率(見込)	-	-	-	-	
指標	活動指標(アウトプット指標①)	目標	30	30	30	30	30
		実績(見込)	23	36	(38)	(36)	【R5年度】
		(単位当たりコスト)	(251千円)	(710千円)	(645千円)	(681千円)	
		達成率(見込)	76.7%	120.0%	(126.7%)	(120.0%)	
	活動指標(アウトプット指標②)	目標	-	-	-	-	
		実績(見込)	-	-	-	-	
		(単位当たりコスト)	-	-	-	-	
		達成率(見込)	-	-	-	-	
	活動指標(アウトプット指標③)	目標	-	-	-	-	
		実績(見込)	-	-	-	-	
		(単位当たりコスト)	-	-	-	-	
		達成率(見込)	-	-	-	-	
目標	終期設定	有 ()					無
	改善基準						-
自己評価	評価の視点	評価		目標に対する達成状況(総合的評価)			
	○有効性(評価指標に対する実績) ・県民ニーズを的確に踏まえた事業か ・民間での事業実施は見込めない事業か ・指標・目標設定は適切か ・活動実績は十分か ・想定された成果を達成しているか など	海外展開を検討する県内中小企業等が行う海外展開に関する実現可能性調査への助成により、県内中小企業等による海外販路開拓や拠点設立等に寄与している		中小企業海外展開支援助成金の実施件数はコロナ禍の影響で落込みが見られたが、助成金の新規枠を設置する等、ポストコロナのビジネス環境に対応出来ていると評価			
	○効率性(最小のコストで最大の効果) ・業務改革に取り組んでいるか ・コスト削減の工夫を行っているか ・ICTや民間活力は活用しているか ・受益者負担は適正か ・財源確保の工夫を行っているか など	・中小企業の実現可能調査に対して助成を行うほか、令和3年度からは越境ECに対する助成を実施、令和4年度はポストコロナ海外新展開助成枠を新設し、国際情勢に合わせた企業ニーズに対応出来るものと評価					
評価	課題・今後の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> その他						
	説明 (採択事業の審査の際、小規模事業者は「実現可能性」「将来性」観点から、評価が相対的に低くなる傾向にあり、採択されにくいという問題がある。「小規模事業者に限定した新たな枠組」を新設することにより問題を解決し、全ての事業者のニーズに平等に対応できるよう改善していく。)						
外部意見	<ul style="list-style-type: none"> 最終アウトカムは、自立して海外展開できた事業者数になるので、その件数はモニタリングすべき。 また、本事業への申請件数もアウトカム指標とすべき。 海外展開しても成功しない事業者を支援することになるので、評価基準の緩和は行うべきではない。 経営資源が不足しており単独での展開が困難な事業者に対し、経営資源の相互補完に向けた事業者間のマッチングを支援してはどうか。マッチングさせた件数はアウトプット指標とすべき。 海外展開の可能性はあるが、経営資源が足りず、本事業の申請に至らない事業者に対し、事務のサポートをしてはどうか。 						
	改善結果 <ul style="list-style-type: none"> 海外展開できた事業者数の把握に向け、従来の自由記述式の実施報告に加え、今年度は、事業の具体的な形態や計画に対する達成度、成果を選択式で回答する報告を試行的に追加する。来年度からは、自由記述式と選択式を統合した実施報告に変更する。 また、海外展開は、必ずしも短期で結果が出ないことから、過年度の補助事業者に対する状況調査についても、令和3年度に実施した状況調査を精査し、頻度・手法等の検討を進める。 あわせて、本事業への申請件数をアウトカム指標に設定する。 経営資源が足りない事業者に対する支援については、海外展開促進員によるきめ細やかな対応を引き続き行うとともに、助成金の申請にあたっては、オンライン申請フォーム等を活用し、より利便性の高い申請方法を準備するなど事務のサポートにつなげる。 						